



本日 第2145回 2015年3月27日(金) No. 2031

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング 「我等の生業」

卓話担当者: 菊田 利昭君

卓話者: //

演 題: 「相続の注意点」

前 回 第2144回 2015年3月22日(日) 記 録

○斉 唱: 「君が代」 「奉仕の理想」
○ゲスト: 講師 井沢 元彦 様
出席者: 会員24名中14名出席 出席率58.33%
前々回補正出席率 3月6日分91.67%



日を過ごしたいと存じます。内容につきましては井沢元彦様による基調講演、代表4RCによる意見発表等盛り沢山です。又、懇親会では参加者全員で大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごして頂きたいと思ひます。最後にこの東尾張分区の各RCのご隆盛を祈念してガバナー補佐としての挨拶とさせていただきます。

IM実行委員長あいさつ

IM実行委員長 瀬戸RC 加藤 睦彦

皆さん、今日は。ご紹介いただきましたIM実行委員長の加藤睦彦です。会員の皆様におかれましては、年度末の休日でご多忙のところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。



さてこの3月はいうまでも無く、東日本大震災が起きて4年目を迎えた月でございます。

去る11日には慰霊祭が行われましたし、14日には仙台にて国連防災世界会議が開催されました。振り返りますと2001年の9月11日の世界貿易センタービル爆破事件は、その後の世界の人々の意識を大きくかえました。現在のイスラミック・ステイト (ISIL) の発生の遠因もそこにあると言っても過言ではありません。

4年前の3月の大震災も日本人の意識を大きく変えました。電力などのエネルギー源をどのように確保す

ガバナー補佐あいさつ

東尾張分区ガバナー補佐

加藤 令吉



皆様こんにちは！
本日は東尾張分区のIM (インターシティミーティング) です。本日のテーマは「歴史は未来への道標 語ろう！ 明日のロータリー」として有意義な一

雑誌月間

	4月 3日 (金)	4月10日 (金)	4月19日 (日)	4月24日 (金)
例会予定	卓話担当者: クラブ会報委員会 卓話者: 福岡 健クラブ 会報委員長 演題: 「クラブ会報の編集について (勉強会)」	卓話担当者: プログラム委員会 卓話者: 森井晴生君 演題: 「雑誌月間に因んで」	17日 (金) 振替 春の家族会 於伊勢方面 商工会館前 AM8:00出発	卓話担当者: 舟橋 龍秀君 卓話者: // 演題: 「精神障害者はなぜ罰せられないことがあるのか？」

るか大きな課題となっていますし、少子高齢化で人口減少が進行するなか「地方消滅」とまで言われている状況下、「地方再生」をどう図るか大きな課題となっています。

このような環境の下、地域共同体とかコミュニティに対しての関心がとても高まって来ています。各地域に根をはる RC がそこで発言、提言し、その存在感、使命感を発揮する機会が増えてきています。変化の時代は、ある意味ではチャンスの時代とも言えるかも知れません。

しかし地域で発言していくにしても、その地域の文化、伝統など歴史を踏まえておかねば説得力がありません。特にこの尾張東部地方は、早くから先人が住み着いて発展してきた地域ですからなお更です。

そこで今日は名古屋出身の小説家で歴史にも造詣が深い井沢元彦さんに「歴史から見る日本の将来」というテーマで講演して頂き、その後、フォーラムにて数人の各 RC 代表の方に「地域の歴史と特色などわが街の誇り」を語っていただきます。

また、この7月からはこの分区の瀬戸 RC の加藤陽一くんがガバナーに就任されます。瀬戸 RC だけでなく東尾張分区の会員皆さんの支持応援なくては、新ガバナーも十分な活躍が出来ません、

懇親会の部では皆さんの交流、親睦を図るとともに、新ガバナーを支持応援する気持ちを高めて戴く機会になったらと思っております。

不行き届きな点はあると存じますが、RC の友情に免じてお許し下さい。楽しく有意義な会合にして戴きたいと思っておりますので ご協力下さい。

宜しく願い致します。ご静聴ありがとうございます。

ホストクラブ会長あいさつ

瀬戸 RC 会長 野田 正治



本日は休日にも拘わらず、東尾張分区インターシティ・ミーティングにお集まりいただきありがとうございます。特に御来賓並びに特別出席者の方々にはご出席いただき感謝申し上げます。

本日のテーマは歴史ですが、我々がこれから行動するうえでそれまでの歴史を知ることはい大変重要なことです。

しかし、注意をしなければならないのはその歴史の解釈を現在の我々に都合の良いところだけを引用して、現在の我々を正当化してしまうことです。そのような態度では未来を過つ危険性がございます。

本日の講師の井沢元彦さんは多くの著書の中でこれをお書きになっています。多くの歴史の記録や文献は特に際立って起こったことだけを記載しているので、実はその当時の人々が共通に持っていた意識や認識あるいは日常的なことについてはむしろ記載されていないことが当然なのです。

実は今年度は瀬戸ロータリークラブは創立55周年を迎えましたが、その際に古い記録を調べようとすると当時の会員特に記録者にとって普通とか当然

だと思っていることは実は全く記録されないのです。

高々55年の歴史を調べようとしてこのように苦労するのですら百年千年の歴史の真実を知ることにはさらに困難になります。我々はそういうことを自覚して歴史の解釈を行う必要があると痛感した次第です。

ロータリークラブと言っても東尾張分区の中でもクラブごとに例会の雰囲気やスタイルが違います。しかし、ともすれば自分のクラブの習慣や雰囲気から他のクラブも同様だと思ってしまうことがあります。ロータリークラブは各クラブが何もかも一緒ではなく、独立してクラブ運営をしていることが重要であると思います。本日の IM では、是非、このような点に着目して他の街の歴史や特色の違いを理解し、クラブ同士の親睦を深めていただければ幸いです。長丁場ですが、有意義な時間を過ごしていただくことを希望して歓迎の挨拶といたします。

次期ガバナー補佐あいさつ

次期ガバナー補佐 犬山 RC 朱宮 新治

1905年にロータリーが創立されて1世紀、110年になりました。この間多くの様々な人道的、教育的プログラムが展開されてまいりました。

次年度に於いても、「Be a gift to the world」「世界へのプレゼントになろう」とラビンドラン次期 RI 会長のテーマが発信され、我が2760地区の加藤陽一ガバナーエレクトさんは、地区方針として「ロータリーの原点に学ぶ」「友情と寛容の輪をひろげよう」と提唱されました。

ガバナーエレクトさんのこの方針を浸透していくことを基に、担当させていただく分区内12クラブがより効果的に運営されますようにサポートさせていただく職務がございまして大変心配しておりますが、皆さんのご協力を得て進めてまいりたいと思っております。

またこの頃、どの地区においても残念ながら入会3年から5年未満の会員の退会者が目立つようでありますから、是非魅力的なクラブを維持していただきたいと思ひますし、加藤ガバナーエレクトさんが提唱されます、ロータリーの原点に振り向き、格調を持ち、Enjoy Rotaryを皆さんが実行していただけますようお願い申し上げます。

今年度には愛知ロータリーEクラブさんが江南 RC さんのスポンサーでこの東尾張分区の新しい仲間になりましたので、皆さんでサポートしていきたいと思ひます。

そして特に現ガバナー補佐の加藤令吉さんには直前ガバナー補佐としての経験からも指導と応援をいただきながら、加藤ガバナーエレクトさんの出身分区ということもありますので、分区内の融和を更に深め、加藤ガバナーエレクトさんを皆さんと共に盛り上げていくではありませんか。

終わりに、ガバナー補佐事務所の運営を担当してくれます、岡田雅隆、山根雄司、両分区幹事、丹羽敬昇分区副幹事を改めて紹介させていただきます。

そして次期 IM は11月28日(土)に開催させていただく予定をしておりますが、IM 実行委員長には小川征一バスターガバナー補佐をお願いする予定でございまして。また久しぶりに分区の懇親ゴルフ大会を来年の3月頃に開催の予定もいたしております。

どうかこれから何かとお世話になりますがどうぞよろしく願い致します。

基調講演

「歴史から見る日本の将来」

井沢 元彦氏



△講演者 井沢氏



△式典・講演を聞く尾張旭RCメンバー

フォーラム



△犬山RC 田中幹事



△瀬戸北RC 水野半次郎君



△岩倉RC 井上幹事



△愛知長久手RC 伊藤会長

懇親会



幹事報告

- ・3/14 会長エレクトセミナー 於ウェスティンナゴヤキャッスル 古橋エツ子会長エレクト出席
- ・3/15 4RC春の親睦会 美濃天狗醸造元 林酒造 古橋裕志会長出席
- ・次回の会合：なし
- ・例会変更のお知らせ：なし